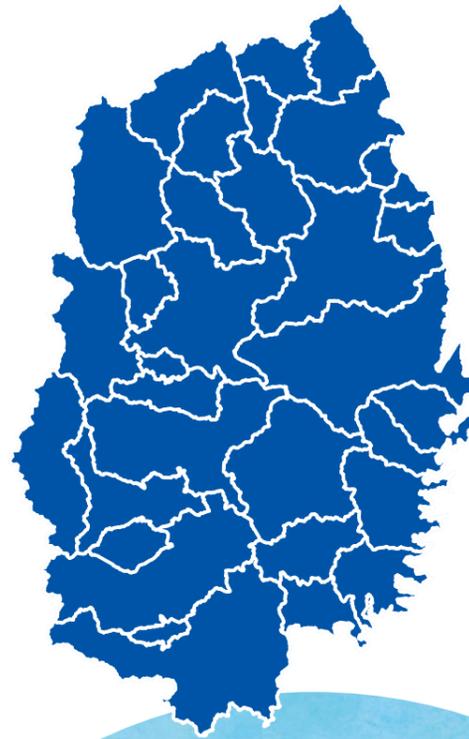


岩手県立病院 専門研修ネットワーク

PROGRAM GUIDE BOOK

2026



 岩手県

医療局医師支援推進室

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1
TEL : 019-629-6366 FAX : 019-629-6354
HP : <https://www.pref.iwate.jp/iryokyoku/>



心つながる いわて

01

岩手の医療はワンチーム 守る地域医療

岩手の医療機関の特徴は、各病院が密接な連携をしているところです。

この大きなネットワークを生かして総合的な医療から高度な専門性の医療までを網羅しています。

一人ひとりが目指す医師像に最適な研鑽をつむことができます。



02

子育て世代の 充実したサポート体制

出産・育児など、仕事と家庭の両立に悩むことも多いでしょう。

岩手県では子育て世代の医師の育児参加をサポートする制度があり、職場環境の改善やワークライフバランスとキャリアパスをサポートするため活動に励んでいます。

INDEX

- 02 | 岩手県と医療
- 04 | わたしのキャリアパス
- 05 | 専門医制度
- 06 | 専門研修を行うメリット
- 10 | 特集/ 対談・インタビュー
- 14 | 基本19領域・サブスペシャリティ領域一覧表
- 16 | 専門研修プログラム紹介
- 32 | 20の県立病院紹介
- 39 | 県立病院以外の施設



03

県立病院数全国1位

岩手県立病院は20病院6地域診療センターあり、県立病院数は全国1位。

岩手県立病院のネットワークにより、地域密着の医療体制と充実した専門研修を行うことができます。

二戸エリア



久慈エリア



宮古エリア



釜石エリア



けせん 気仙エリア



盛岡エリア



中部エリア



たんこう 胆江エリア

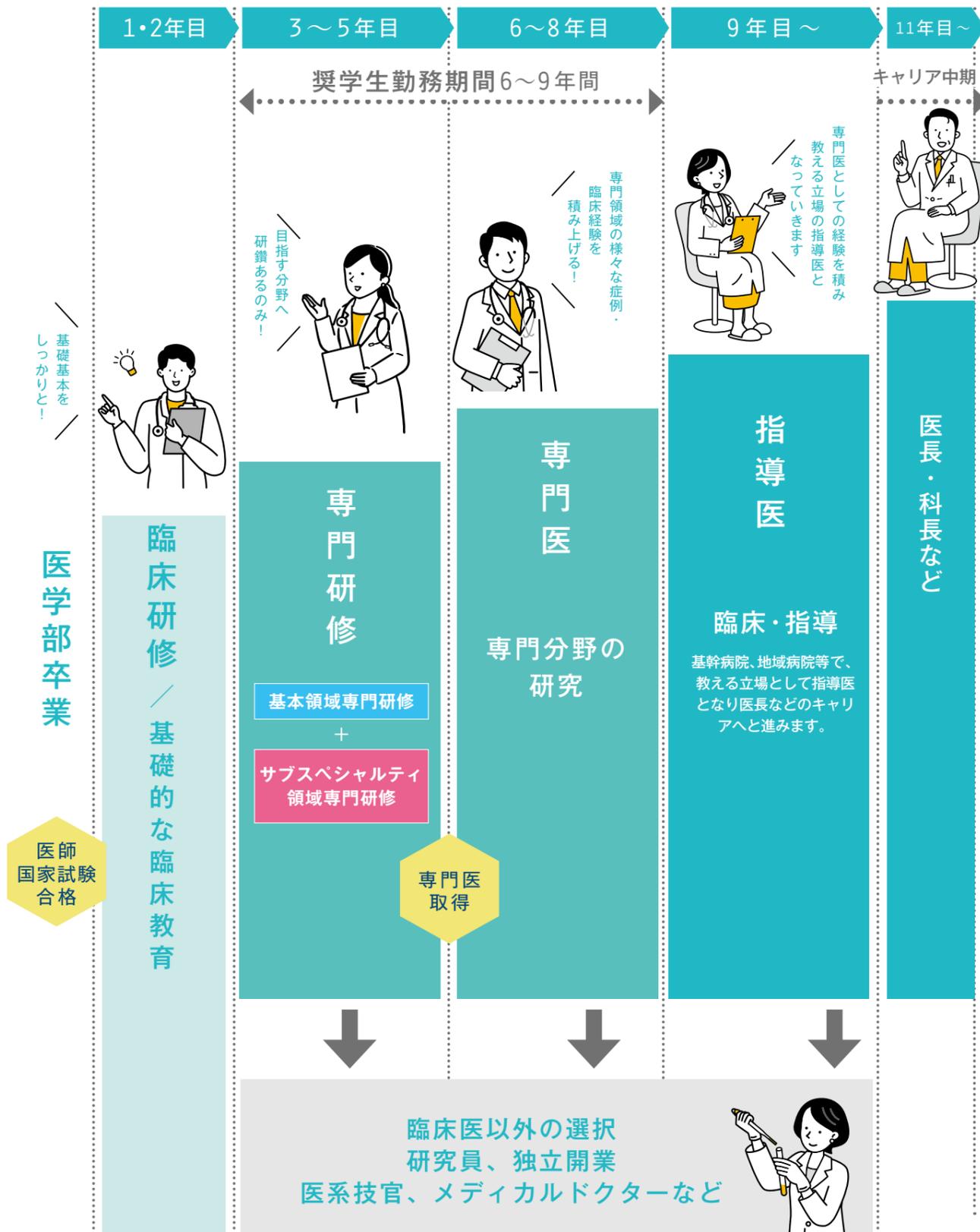


りょうばん 両磐エリア



わたしのキャリアパス

医学部を卒業し、いよいよ自分の進む道にむかって歩き出します。
これから、医師としての研鑽をかさねる大切な時期、自分のやりたい事、なりたい姿をイメージしてみましょう。



専門医制度

2018年4月に開始された専門医制度は、県立病院などの基幹施設にて専門研修プログラムを行います。専門研修は「基本領域」と「サブスペシャルティ領域」の二つの領域を、基幹施設と、連携する施設を周りながら行います。技術の研鑽、知識の蓄積など、医師として大切な時期といえます。



岩手県立病院で専門医をめざそう！

岩手県立病院では、7基本領域・7病院が基幹施設となっており、20病院・6地域診療センターからなるネットワークにより、充実した専門研修を行うことができます。

また奨学金の義務履行や出産・育児と仕事の両立のための支援制度、福利厚生も充実しており、安心して岩手県立病院で専門医に向けてのキャリアを積むことができます。



メリット

1 一人ひとりのキャリアプランに沿ったプログラムを実現

20の県立病院と6の地域診療センターのネットワークを生かし、幅広い領域の専門研修プログラムを網羅しています。

基幹施設と連携施設のローテーションにより、内陸と沿岸、基幹病院と地域病院といった様々な医療環境で経験を積むことができ、一人ひとりのニーズに合った研修を受けることができます。

- ◆ 県立病院のネットワーク・スケールメリットを生かした指導体制により、充実した研修を実現
- ◆ 症例豊富な病院での研修や特色ある地域医療などを経験できます
- ◆ 学びたい内容に合わせて都度ローテーションを組むことができます

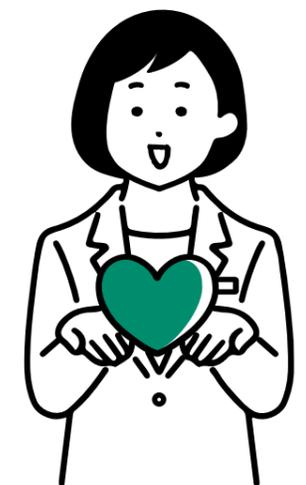


メリット

2 安定した給与と手厚い福利厚生

安心して長く働ける環境を整備しています。
医師としてのキャリアアップと生活の両立を力強く支えます。

- ◆ **正規職員**
地方公務員である県職員として身分を保障します
- ◆ **休暇制度が充実**
夏季休暇などの特別休暇制度・採用時から有給休暇があります
- ◆ **福利厚生も充実**
医療費助成、保養施設利用補助金、球技大会などがあります
- ◆ **安定した給与**
年収 1,000万円～1,200万円
(医師免許取得後3年目から5年目まで)
※時間外手当を除く



メリット

3 奨学金の義務履行と専門研修の両立

キャリア形成を支援するための枠組みづくり。

- ◆奨学生は県立病院に勤務しながら奨学金の義務履行と専門研修を両立できます。
- ◆岩手県の医学生奨学金の義務履行中でも通算6年間まで義務履行対象施設以外でも専門研修を受けられます。



○奨学金養成医師の基本配置ルール

6～9年間公的医療機関勤務

(医療局医師奨学金／岩手県医師修学資金／市町村医師養成修学資金)

6年間の
公的医療
機関勤務例

臨床
研修
終了

公的基幹病院 2年間

その他の
公的医療機関 2年間

公的基幹病院
その他の公的医療機関 2年間

奨学生としての
公的医療機関勤務

専門研修3～5年間

専門医取得

両立が可能!

いわて医学生奨学金
制度については
こちら▼



メリット

4 ワークライフバランスを大切に 子育て世代医師の子育てを支援

子育てのための支援制度に加え、ワークライフバランスとキャリア形成の実現を「医師の子育て支援プロジェクトチーム(通称：岩手パパママドクター応援団)」がサポートします。また介護のための支援制度もあります。

- 出生サポート休暇
- つわり休暇
- 配偶者出産休暇
- 男性職員の育児参加休暇
- 育児休業
- 子の看護等休暇
- 24時間保育の院内保育所
- 幼児等保育送迎
- 職場復帰支援制度
- 短期介護休暇、介護休暇
など

仕事や家庭の両立
のための支援制度
はこちら▼



メリット

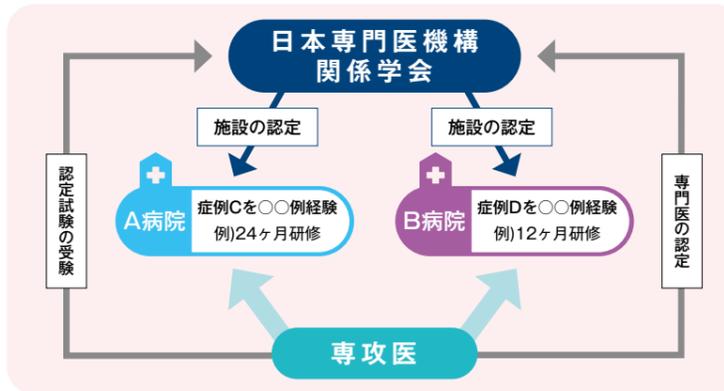
5 柔軟な研修体制

研修カリキュラム制(単位制)の導入。

各学会が定めた必要単位数を取得し、経験すべき症例の経験数を満たし、プログラム制と同等の試験を合格することでも専門医認定を受けることができます。

出産、育児、介護で一時的に休職しなければならない医師や、海外留学等で長期間研修を中断しなければならない場合でも資格が取得できます。

また女性医師をサポートするプログラムとの併用も可能です。



メリット

6 学会出席のための助成が充実 キャリア形成を支援

学会出席のための助成を行っており、年間25万円(旅費18万円・学会受講料6万円・文献検索複写1万円)の範囲内で支給しています。

さらに、専門医等への加算や所属する県立病院の地域に応じた加算があります。

◆学会出席旅費等

25万円助成(年間)

さらに専門医等は3万円加算

◆専門研修指導医を目指す専門医は

6万円を加算(年間)





県立大船渡病院 × 救急科

気仙地域住民の生命を守るため、24時間救急医療の灯を絶やさない。

県立大船渡病院 救命救急センター 救命救急センター長 横沢 友樹

専門研修プログラムを立ち上げたきっかけや特色を教えてください。

大船渡病院には医療設備がとても整っているのですが、これまでは救急に専従している医師がおらず「ハードはあるけどソフトがない」状態でした。どんどん新しい機材も入ってくるのに、それを生かしていないのはもったいない。ここでいろいろ展開していきたいという思いが芽生えてきました。

高次の救命救急センターで研鑽した救急医がいる県立病院は大船渡病院だけだと思うんです。急患の受け入れから治療までを自己完結できている部分もある。たとえば他院では、受け入れだけ救急が対応してあとは専門の先生が対応しているケースもありますが、ここでは熱傷や臓器提供も救急科で一貫して対応することができます。

研修医や若手医師の教育体制について教えてください。

岩手県全体に言えることですが、大船渡病院には20代・30代の医師が多くて40代の医師が少ない。どうしても人材の定着が課題です。

この専門研修プログラムでは県立病院間での連携を活かして中央病院、久慈病院、宮古病院での小児科や内科の研修も組み込んでいるので、専門性を持った研修を連携施設で半年や1年受けることも

できます。

県立病院だけで研修が完結できるので、岩手県の奨学金の義務履行がある方にもおすすめです。

ドクターカーの運行も開始している。

2024年4月からドクターカーを導入しました。大船渡市、陸前高田市、住田町を中心に出勤していて、週にだいたい8件ほどの要請があります。

指導医と一緒に現場に出て、病院外での救急対応を学べるのは大きな特徴ですね。実際に現場で判断し、治療につなげる力を養うことができます。

地域の救急医療の現状についてはどう感じていますか？

救急センターというのは、本来は住民50万人に対して1つという想定で設計されています。気仙・釜石地区でもおよそ9万人ほどの人口ですが、面積が広いので単純には比較できません。それでも、地域の特性に合わせた柔軟な救急体制を築いていく必要があると感じています。

研修を終えた後のキャリアについてはどう考えていますか？

専門医を取ったあと、いったん大きな病院に出て経験を積むのも良いと思います。私自身も東北大学に行きました。そのうえで数年後にまた大船渡に戻ってきてくれたら、本当にうれしいですね。

また協力施設として、大船渡病院で集中治療や消化器内視鏡の専門医（サブスペシャルティ）も取ることができます。地域の救急医療を次の世代につないでいく循環をつくりたいと思っています。

最後に、救急医療のやりがいを教えてください。

他の診療科のようにかかりつけではないので、長く患者さんを診ることは少ないです。ですが日常の突然の悲劇に介入して、人の命を救えるのが救急の大きな魅力です。

また重症患者の対応の他、医師が増えたら社会的入院のような症例も救急で対応したいと考えています。それもこの地域の医療には必要なことなのです。

救急がやりたい方は大船渡病院にぜひ来てください。



横沢 友樹
岩手県出身
平成18年3月 筑波大学 卒業
18年4月 県立大船渡病院 臨床研修医
20年4月 県立大船渡病院 勤務
令和2年9月 東北大学大学院 修了

救急科専門研修の詳細は28～29ページをご確認ください。

県立中央病院 × 呼吸器内科

診断には厳しく、患者さんには限りなく優しく

まず、呼吸器内科を専攻した理由を教えてください。

もともと腫瘍内科や感染症内科など、幅広い領域に興味がありました。呼吸器内科なら、そういったさまざまな分野の症例に関わることができるのが魅力でした。集中治療や人工呼吸器の管理にも携われますし、いろいろな症状を診ることができるというところが自分に合っていると思い、専攻を決めました。

実際に研修してみて、呼吸器内科の雰囲気はいかがですか？

とても相談しやすい環境だと思います。毎日カンファレンスがあるので、迷ったことはすぐに上司や先輩に聞けますし、自分の判断で自由に進める部分と、相談しながら決める部分のバランスがちょうどいいですね。安心して診療に取り組んでいます。

呼吸器内科 専攻医 長谷川 祥

診療科としての特徴について教えてください。

他の病院から紹介されて来る患者さんも多くて、症例数はかなり豊富だと思います。病院内でも外科や病理などいろいろな部署と連携しますし、さらにケアマネージャーや地域のケアスタッフとも関わるので、多職種との連携がとても多いのが特徴です。

高齢の患者さんが多いので、患者さん本人だけでなく、ご家族のその後の生活まで見据えて治療方針を選ぶことも多いです。

今後のキャリアについてはどのように考えていますか？

まずは内科専門医を取得して、そのあと呼吸器内科専門医を目指したいと考えています。どこの病院で経験を積むかは選択肢がいろいろありますが、ここで経

験を積みながら専門医が取れたら一番いいなと思っています。

最後に、どんな方が呼吸器内科に向いていると思いますか？

扱う症状が幅広いので、広く興味を持てる方や、興味を絞り切れないという方にも合っていると思います。治療方針の自由度が高いので、やりがいもありますよ。

それから、多職種の方とのコミュニケーションや、高齢の患者さん・ご家族とのやり取りも多い診療科です。最初は難しいかもしれませんが、やっていくうちに慣れてきますし、大丈夫だと思います。

内科専門研修の詳細は17～19ページをご確認ください。

MY CAREER PATH



長谷川 祥

東京都出身
R3年3月 岩手医科大学 卒業
専攻医 3年目
※取材当時

臨床研修

R3年4月～R5年3月
岩手医科大学附属病院

専門研修・サブスペ

(R5年4月～現在3年目)
R5年4月 県立中央病院 勤務
R6年2月 県立千厩病院 勤務
R6年3月 県立中央病院 勤務
R6年10月 県立中部病院 勤務
R7年4月 県立中央病院 勤務

専門医 指導医

目指せ！
内科専門医
呼吸器内科専門医

TALK SESSION

県立中央病院×産婦人科

さ さ き ま き
佐々木 麻妃 (専攻医)
お ば ら し お り
小原 史織 (専攻医)



中央病院の専門研修について

佐々木 女医はどうしても、体力やライフステージの変化のため、働ける時間は男性医師よりも限られるのかなと思っていました。でも、外科も内科もどちらも好きで、産婦人科が一番しっくりきました。同じ女性として患者さんに寄り添える場面も多いですし、思春期のケアから妊娠・出産、その後のヘルスケアまで長く関われる点にも魅力を感じました。

臨床研修から中央病院にいたのですが、指導医の先生方がとても熱心で、いろいろなことを任せられます。雰囲気も良くて、気兼ねなく相談できるのがありがたいですね。

症例数も多く、手術・外来はもちろん、紹介患者さんの受け入れや母体搬送など、多様なケースを経験できます。難しい症例の処置を間近で見たり、カンファレンスでは丁寧にフィードバックもいただけるので学びが多いです。総合病院なので他の疾患を抱えている患者さんも多いので、他の診療科や心理師・カウンセラーの方々など、多職種との連携も非常に大事になります。総合病院だからこそ学んでいることが多いですね。患者さんと信頼関係をどう築くかという点も、日々勉強中です。

また中央病院は他の病院から患者さんを受け入れる立場ですが、連携施設に行けば今度は送る側になりますから、緊急性など自分で判断できるようにならなければいけません。症例数の多い中央病院で最初に学べていることは非常に大きいと思います。現在は週3で手術、週2で外来、プラス病棟や救急をやっているもので、忙しくもあるけれど毎日勉強になって充実しています。

小原 臨床研修は仙台か盛岡で考えていたのですが、最終的に中央病院で研修することになり、1年目から産科志望だと伝えていたので、先生方がとても良くしてくれました。そのまま専門研修も中央病院で続けています。中央病院はとにかく症例が幅広いです。重症のケースから、女性特有のちょっとしたお悩みまで。

外来で初診から診察して、自分で治療方針を提案し、自分で手術をして、その後良くなるまで見届けられる…という一連の流れを経験できるのは、とても勉強になります。

対応に迷った時は、指導医の先生だけでなく、先輩の佐々木先生も相談に乗ってくれます。手術中に動きが止まってしまったときに“ここはこうするといよいよ”とその場で教えていただいたりして、頼りになるお姉さんという感じです。

佐々木 私も先輩から教えていただいたことや、この1年で自分が迷ったことはきっと小原先生にも共通すると思うので、少しでも助けになればいいですね。

奨学金やキャリアとの両立は？

佐々木 私は岩手県の奨学金を利用しているので、義務履行と研修を両立しながら働いています。産婦人科を専攻した場合は、中小病院での勤務が免除され、産婦人科のある病院で集中して経験を積めるのも中央病院を選んだ決め手になりました。

今後のキャリアについては？

佐々木 まずは専門医の取得が目標です。生殖・内分泌、腫瘍、周産期、ヘルスケアなどいろいろな領域に興味がありますが、まだ一つには絞れていなくて……。どの領域でも対応できるよう、総合的に診られる産婦人科医になりたいと思っています。

小原 私はまだ1年目なのでこれからですが、できれば岩手県内で働き続けたいと考えています。

産婦人科専門研修の詳細は24ページをご確認ください。

MY CAREER PATH



佐々木 麻妃

宮城県出身
R4年3月 獨協医科大学 卒業
専攻医 2年目
※取材当時

臨床研修
R4年4月～
R6年3月
県立中央病院

目指せ！産婦人科専門医
専門研修・サブスペ
(R6年4月～現在2年目)
R6年4月 県立中央病院 勤務



小原 史織

岩手県出身
R5年3月 弘前大学 卒業
専攻医 1年目
※取材当時

臨床研修
R5年4月～
R7年3月
県立中央病院

目指せ！産婦人科専門医
専門研修・サブスペ
(R7年4月～現在1年目)
R7年4月 県立中央病院 勤務

MY CAREER PATH



松坂 和美

岩手県出身
R5年3月
岩手医科大学 卒業
専攻医 1年目
※取材当時

臨床研修
R5年4月～R7年3月
県立胆沢病院

専門研修・サブスペ
(R7年4月～現在1年目)
R7年4月 県立胆沢病院 勤務

目指せ！
内科専門医
循環器内科専門医

県立胆沢病院 × 循環器内科

いち早く疾患を見だし、
適切な処置を

循環器内科 専攻医 松坂 和美

循環器内科を選んだ理由

臨床研修のころから胆沢病院でお世話になっているのですが、実は最初は別の科を志望していました。でも研修医の時に循環器内科の先生方からすごく熱心に指導していただいた。

循環器は病態生理や解剖など難しそうな印象があって、正直、苦手意識もあったのですが勉強してみると意外と面白い分野で、胆沢病院の循環器内科で頑張りたいと思うようになりました。

科の雰囲気

循環器内科には、臨床研修の時から同期や年次の近い先生がいるので、お互いに励まし合いながら日々働くことができ心強いです。

指導医の先生方もとても熱心で、丁寧に、優しく教えてくださるので、安心して学べる環境だと感じています。

循環器内科の魅力と難しさ

循環器内科は命に関わる疾患が多い科です。だからこそ、患者さんが一人で頑張るのではなく、ご家族も含めてみんなで一緒に頑張っていきたいという姿勢を大事にしています。

同じ病気でも、年齢や背景、併存する病気によって治療方針はまったく違います。その方のその後の人生を見据えて、ベストな選択ができるよう心がけています。

今後のキャリアについて

私は地域枠の奨学生なので、専門研修としての症例確保と、地域枠としての義務履行のバランスを考えながら進路を決めたいと思っています。

まだ1年目なので、まずは今の仕事を精一杯やりながら方向性を固めていき、他の先生方のお話も参考に進路を決める予定です。

胆沢病院の専門研修プログラムの 特徴

幅広い症例を経験しなければいけません。胆沢病院では普通に働いているだけで経験を積んでいます。そこを心配しないでいいのはすごく大きなメリットだと思います。

循環器以外の患者さんを診る機会も多いので、内科医としてしっかり対応できる力が求められます。

後輩への思い

自分自身、先輩方の姿を進路の参考にしてきたので、“今度は自分が後輩に見られる立場なんだ”という意識は強く持っています。良いロールモデルになれるよう、日々の診療を大切にしていきたいと思っています。

内科専門研修の詳細は17～19ページをご確認ください。

基本19領域

基幹施設・連携施設一覧

●… 基幹施設として専攻医を募集する施設
○… 連携施設として専攻医を受け入れている施設（令和8年1月現在）

掲載ページ	病院名	内	小	皮	精	外	整	産	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	臨	救	形	テ	総
		科	児	膚	神	科	形	婦	科	鼻	尿	神	射	酔	理	床	急	成	リ	合
P32	岩手県立中央病院 <small>基幹 臨研</small>	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P33	岩手県立中部病院 <small>基幹 臨研</small>	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立胆沢病院 <small>基幹 臨研</small>	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P34	岩手県立磐井病院 <small>基幹 臨研</small>	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立南光病院 <small>基幹</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P35	岩手県立大船渡病院 <small>基幹 臨研</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立宮古病院 <small>基幹 臨研</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P36	岩手県立久慈病院 <small>臨研</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立遠野病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P37	岩手県立東和病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立江刺病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立千厩病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P38	岩手県立高田病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立釜石病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P38	岩手県立大槌病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岩手県立山田病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P36	岩手県立二戸病院 <small>臨研</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P38	岩手県立一戸病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P39	岩手県立軽米病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大学病院	P39 岩手医科大学附属病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	- 東北大学病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	- 自治医科大学附属病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	- 東北医科薬科大学病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	- 秋田大学医学部附属病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
- 弘前大学医学部附属病院 <small>臨研</small>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
P39	栃内病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※最新情報は各病院にお問い合わせください

サブスペシャリティ領域

認定施設一覧 (令和8年1月時点)

サブスペシャリティ領域名	施設名	盛岡	岩手中部		胆江		両磐		気仙	釜石	宮古	久慈	二戸							
		中央	中部	遠野	東和	胆沢	江刺	磐井	千厩	大東	南光	大船渡	高田	釜石	大槌	宮古	山田	久慈	二戸	一戸
消化器内科	認定施設	●				●	●													
	関連施設		●				●			●	●		●		●		●	●	●	●
循環器内科	研修施設	●	●			●	●													
	研修関連施設														●		●			
呼吸器内科	連携施設					●														
	特別連携施設	●	●												●					
血液	研修認定施設	●				●														
	研修教育施設		●																	
内分泌代謝・糖尿病内科	認定教育施設	●																		
	教育施設	●																		
脳神経内科	准教育施設	●	●					●												
	認定教育施設	●																		
腎臓	認定教育施設	●																		
	教育施設	●	●																	
膠原病・リウマチ内科	認定教育施設	●																		
	教育施設	●	●																	
消化器外科	修練施設	●	●			●	●			●			●		●		●	●	●	
	基幹施設	●																		
呼吸器外科	連携施設					●														
	修練施設(基幹)	●				●														
心血管外科	修練施設(基幹)	●				●														
	教育関連施設	●																		
小児外科	認定施設	●	●			●	●			●			●		●		●			
	総合修練機関	●																		
放射線診断	修練機関		●																	
	認定施設	●																		
放射線治療	認定施設	●																		
	アレルギー																			
感染症	認定施設																			
	老年科																			
腫瘍内科	連携施設	●				●		●												
	認定施設	●																		
内分泌外科	関連施設					●														
	認定施設	●	●					●												
肝臓内科	認定施設	●	●					●												
	関連施設																			
特別連携施設	特別連携施設					●				●			●		●		●		●	●
	指導施設	●				●		●												
消化器内視鏡	指導連携施設		●																	
	認定教育施設	●																		
糖尿病内科	認定教育施設 I	●																		
	認定教育施設 II																			●
放射線力テール	修練認定施設	●																		
	研修協力施設																			
脊椎脊髄外科	認定施設																			
	連携施設	●								●										
新生児	関連施設		●																	
	修練施設群		●																	
小児循環器	修練施設群		●																	

※最新情報は各病院にお問い合わせください

専門研修プログラム

1 内科 P17
 県立中央病院・県立中部病院、県立胆沢病院
 県立磐井病院・県立宮古病院

2 小児科 P20

3 皮膚科 P20

4 精神科 P21
 県立南光病院

5 外科 P22
 県立中央病院

6 整形外科 P23
 県立中央病院

7 産婦人科 P24
 県立中央病院

8 眼科 P24

9 耳鼻咽喉科 P25

10 泌尿器科 P25

11 脳神経外科 P26

12 放射線科 P26

13 麻酔科 P27
 県立中央病院

14 病理 P28

15 臨床検査 P28

16 救急科 P28
 県立中央病院、県立大船渡病院

17 形成外科 P29

18 リハビリテーション科 P29

19 総合診療科 P30

岩手県立病院は 7 基本領域
 7 病院が基幹施設 になっています

① 内科

※臨床研修時の症例も認められる場合があります。
 詳しくは各病院へ確認してください。

P32 県立中央病院		岩手県立中央病院内科専門研修プログラム												研修期間 3年	募集人数 12名	
基幹病院／連携施設		研修可能な領域													福利厚生	
		総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎
県立中央病院 (P32)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
連携施設	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	●	○	○
	県立遠野病院 (P36)	●	●	●			●		▲					▲		○
	県立東和病院 (P37)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		○
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		○
	県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	▲	▲	●	●	○	○
	県立千厩病院 (P37)	●	●	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲		●	●		○
	県立大東病院 (P37)	●	●	▲		▲	▲	▲					▲			○
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	○	○
	県立高田病院 (P38)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲					▲			○
	県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	●	●		●		○	○
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	●	●	○	○
	県立山田病院 (P38)	●					●	●			●	●				○
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●		●		▲	▲	●	▲		●	●	○	○	
県立一戸病院 (P38)	●														○	
県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●		▲		▲	▲		▲	●		○	

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年	4年
内科標準タイプ	基幹 内科8科	連携 内科全般	基幹 内科8科	
サブスベ重点研修タイプ	基幹 サブスベ	基幹 内科全般	連携 内科全般	
内科・サブスベ混合タイプ	基幹 サブスベ	連携 内科全般	基幹 内科全般	連携 内科全般

【取得可能サブスベ診療科】

- 血液内科
- 腎臓内科
- 膠原病リウマチ内科
- 消化器内科
- 消化器内視鏡
- 糖尿病内科
- 内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科
- 腫瘍内科

【県内】 国立病院機構盛岡医療センター、川久保病院、八幡平市立病院、国保葛巻病院、坂の上野田村太志クリニック、西和賀さわうち病院、清生会岩泉病院、国保種市病院、岩手医科大学附属病院
 【県外】 東北大学病院、秋田大学医学部附属病院、仙台市立病院、JCHO 仙台病院、国立循環器病研究センター、東京都立駒込病院、東北医科薬科大学病院、国立病院機構大阪医療センター、京都第一赤十字病院、八戸市立市民病院、虎の門病院、虎の門病院分院、聖マリアンナ医科大学病院

P33 県立中部病院		岩手県立中部病院内科専門研修プログラム												研修期間 3年	募集人数 5名	
基幹病院／連携施設		研修可能な領域													福利厚生	
		総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎
県立中部病院 (P33)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	●	○	○
連携施設	県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立遠野病院 (P36)	●	●	●			●		▲					▲		○
	県立東和病院 (P37)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		○
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
	県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		○
	県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	▲	▲	●	●	○	○
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	○	○
	県立高田病院 (P38)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲					▲			○
	県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	●	●		●		○	○
	県立大槌病院 (P38)	●	●				●									○
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	●	●	○	○
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	○	○
	県立二戸病院 (P36)	●	●	●		●		▲	▲	●	▲		●	●	○	○
	県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●		▲		▲	▲		▲	●		○

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年
内科標準タイプ	基幹 内科系診療科		連携 内科全般
サブスベ重点研修タイプ	基幹 サブスベ	基幹 内科全般	連携 内科全般

【取得可能サブスベ診療科】

- 消化器内科
- 循環器内科
- 糖尿病内科
- 消化器外科

他連携施設（県内外） 【県内】 西和賀さわうち病院 【県外】 東北大学病院

P33 県立胆沢病院	岩手県立胆沢病院内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 4名														
基幹病院/連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
連携施設	県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	●	●	○	○		
	県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	○	○		
	県立山田病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年
内科標準タイプ	基幹 内科系診療科	基幹 内科系診療科	連携(大学病院) 内科全般
地域病院優先研修タイプ	連携(地域病院) 内科全般	基幹 内科系診療科	連携(大学病院) 内科全般
サブスベ重点研修タイプ	基幹 内科全般/サブスベ(2年目~)	基幹 内科系診療科	連携 内科全般/サブスベ

他連携施設 (県内外) 【県内】 西和賀さわうち病院、国保まごころ病院 【県外】 東北大学病院、秋田大学医学部附属病院、東北医科薬科大学病院

【取得可能サブスペ診療科】
 ・消化器内科
 ・循環器内科
 ・呼吸器内科
 ・血液内科

P34 県立磐井病院	岩手県南内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名														
基幹病院/連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	▲	▲	●	●	○	○		
連携施設	県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	●	●	○	○		
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立千歳病院 (P37)	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立大東病院 (P37)	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	○	○		
	県立山田病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年
内科標準タイプ	基幹 内科系診療科	基幹 内科系診療科	連携 内科全般

他連携施設 (県内外) 【県内】 国立病院機構盛岡医療センター、国保藤沢病院 【県外】 東北大学病院

P34 県立宮古病院	いわて三陸海岸連携内科研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名														
基幹病院/連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	●	●	○	○		
連携施設	県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	●	●	○	○		
	県立遠野病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	▲	○	○		
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	○	○		
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
	県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	●	●	●	●	○	○		
	県立大槌病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立山田病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
	県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			
県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年
内科標準タイプ	基幹 内科系診療科	基幹・連携 左記以外診療科及び その他選択内科	基幹・連携 内科全般

他連携施設 (県内) 【県内】 岩手医科大学附属病院、済生会岩泉病院、国保種市病院

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 28名														
連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	●	○	○		
県立遠野病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	●	▲	○	○		
県立東和病院 (P37)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立江刺病院 (P37)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立千歳病院 (P37)	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立大東病院 (P37)	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立高田病院 (P38)	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○		
県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	●	●	●	●	○	○			
県立宮古病院 (P34)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	○	○			
県立山田病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○			
県立久慈病院 (P36)	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			
県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			
県立軽米病院 (P39)	●	●	▲	▲	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○			

他連携施設 (県内外) 【県内】 国立病院機構盛岡医療センター、盛岡赤十字病院、国保葛巻病院、北上済生会病院、西和賀さわうち病院、奥州市総合水沢病院、国保藤沢病院、済生会岩泉病院、国保山形診療所、いわてリハビリテーションセンター、盛岡市立病院、盛岡友愛病院、松園第二病院、中津川病院、八角病院、国保浄法寺診療所、国保二又診療所、国立病院機構岩手病院、岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 【県外】 八戸赤十字病院、かづの厚生病院、市立角館総合病院、能代厚生医療センター、J R仙台病院、和歌山県立医科大学附属病院

東北大学病院	東北大学病院内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 55名														
連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	●	○	○		
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	▲	▲	▲	▲	○	○		

秋田大学医学部附属病院	秋田大学医学部附属病院内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 30名														
連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		

東北医科薬科大学病院	東北医科薬科大学病院内科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 35名														
連携施設	研修可能な領域													福利厚生			
	総内	消内	循環	内分	代謝	腎臓	呼吸	血液	神経	アレ	膠原	感染	救急	保育	宿舎		
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○		

他連携施設 (県内) 【県内】 奥州市総合水沢病院 (特別連携施設)

J-OSLER (ジェイ・オスラー) 制度

J-OSLERとは内科専攻医の対象のオンラインシステムで、臨床研修中の経験症例を登録し、それを指導医が評価することで、専門研修の経験症例とすることができます。研修カリキュラム制との併用も可能なため、一時的な休職や子育て、留学など、それぞれのキャリアパスに合わせて活用することができます。

内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
整形外科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
形成外科
リハビリテーション科
総合診療科

② 小児科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院小児科専攻医プログラム	研修期間 3年	募集人数 9名							
連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	8,055	5,096	4	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,213	5,481	2	○	○
県立磐井病院 (P34)				●	315	7,440	3,615	3	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	359	8,575	2,808	2	○	○
県立釜石病院 (P36)					180	8,758	466	-	○	○
県立宮古病院 (P34)	●	●	▲	●	238	5,123	2,490	1	○	○
県立久慈病院 (P36)					246	10,039	616	1	○	○
県立二戸病院 (P36)				●	230	4,010	2,201	1	○	○
他連携施設 (県内外)		【県内】盛岡赤十字病院、北上済生会病院、岩手県立療育センター、川久保病院、みちのく療育園、国立病院機構盛岡医療センター 【県外】八戸赤十字病院、かつの厚生病院、昭和医科大学病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学江東豊洲病院								

東北大学病院	東北大学病院小児科専攻医プログラム	研修期間 3年	募集人数 14名							
連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	8,055	5,096	4	○	○
県立胆沢病院(関連施設) (P33)					346	14,039	2,291	-	○	○

弘前大学医学部附属病院	弘前大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)プログラム	研修期間 3年	募集人数 10名							
連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					保育	宿舎
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,213	5,481	2	○	○

東北医科薬科大学病院	東北医科薬科大学小児科専門医プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名							
連携施設	研修可能なサブ領域				病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	小児循環器	小児神経	小児血液	周産期					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	8,055	5,096	4	○	○

③ 皮膚科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学皮膚科研修プログラム	研修期間 5年	募集人数 6名							
連携施設	研修可能な専門領域			病床数	外来数	入院数	手術数(全麻)	指導医数	福利厚生	
	アレルギー	感染症	悪性腫瘍						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	685	9,993	2,059	10	1	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	▲	434	5,411	1,279	22	1	○	○
県立磐井病院 (P34)	▲	▲	▲	315	6,547	117	-	-	○	○
他連携施設 (県内)		【県内】盛岡赤十字病院、赤坂病院								

④ 精神科

P35 県立南光病院	岩手県立南光病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名											
基幹病院/連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生		
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					保育	宿舎	
連携施設	県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	256	33,230	61,986	6	○	○
	県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	198	23,223	45,126	3	○	○
【プログラムローテーション例】		1年			2年			3年						
連携施設半年コース		基幹			連携			基幹						
連携施設1年コース		基幹			連携			基幹						
他連携施設 (県内外)		【県内】岩手医科大学附属病院、国立病院機構花巻病院、平和台病院、未来の風せいわ病院 【県外】東北医科薬科大学病院												

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 10名										
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	685	1,363	-	-	○	○
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	256	33,230	61,986	6	○	○
県立一戸病院 (P38)	●	●	●	●	●	●	●	198	23,223	45,126	3	○	○
他連携施設 (県内)		【県内】未来の風せいわ病院、盛岡観山荘病院、平和台病院、宮古山口病院、北リアス病院、三陸病院											

東北大学病院	東北大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 8名										
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					保育	宿舎
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	256	33,230	61,986	6	○	○
他連携施設 (県内)		【県内】国立病院機構花巻病院、釜石厚生病院											

秋田大学医学部附属病院	秋田大学医学部附属病院精神科専門医プログラム	研修期間 3年	募集人数 8名										
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					保育	宿舎
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	256	33,230	61,986	6	○	○

東北医科薬科大学病院	東北医科薬科大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 5名										
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	統合失調症	気分障害	行動障害	器質性精神障害	思春期	神経障害	パーソナリティ障害					保育	宿舎
県立南光病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	256	33,230	61,986	6	○	○
他連携施設 (県内)		【県内】国立病院機構花巻病院、未来の風せいわ病院											

⑤ 外科

※臨床研修時の症例も認められる場合があります。
詳しくは各病院へ確認してください。

P32 県立中央病院		岩手県立中央病院を基幹施設とした 岩手県立病院群外科専門医研修プログラム					研修期間 3年		募集人数 7名				
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科	乳腺外科	その他						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	685	24,406	19,873	1,260	15	○	○
連携施設	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	434	22,554	27,316	1,389	2	○	○
	県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	346	12,881	14,297	901	3	○	○
	県立磐井病院 (P34)	●	●			●	315	12,697	8,913	751	1	○	○
	県立千厩病院 (P37)	●					120	6,766	9,702	135	1		○
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	359	10,532	12,107	422	1	○	○
	県立釜石病院 (P36)	●	●		●	●	180	7,974	6,124	326	1	○	○
	県立宮古病院 (P34)	●			●	●	238	8,829	10,114	470	1	○	○
県立久慈病院 (P36)	●			●	●	246	11,567	11,371	346	4	○	○	
県立二戸病院 (P36)	●			●	●	230	8,940	9,064	378	1	○	○	

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年
標準タイプ	基幹 サブスペ	基幹 外科全般 連携 サブスペ	基幹 サブスペ 連携 サブスペ
他連携施設 (県外)	【県外】 東北大学病院、東北医科薬科大学病院		

【取得可能サブスペ診療科】
消化器外科
小児外科
心臓血管外科
呼吸器外科
乳腺外科

P39 岩手医科大学附属病院		岩手医科大学外科専門医研修プログラム					研修期間 3年		募集人数 10名				
連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科	乳腺外科	その他						保育	宿舎
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	434	22,554	27,316	1,389	2	○	○
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	346	12,881	14,297	901	3	○	○
県立江刺病院 (P37)	●						60	5,038	3,404	4	1		○
県立磐井病院 (P34)	●	●			●	●	315	12,697	8,913	751	1	○	○
県立千厩病院 (P37)	●						120	6,766	9,702	135	1		○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	359	10,532	12,107	422	1	○	○
県立釜石病院 (P36)	●	●		●	●	●	180	7,974	6,124	326	1	○	○
県立宮古病院 (P34)	●			●	●	●	238	8,829	10,114	470	1	○	○
県立久慈病院 (P36)	●			●	●	●	246	11,567	11,371	346	4	○	○
県立二戸病院 (P36)	●			●	●	●	230	8,940	9,064	378	1	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】 盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、盛岡友愛病院
【県外】 八戸赤十字病院、函館五稜郭病院、中通総合病院、かづの厚生病院、能代厚生医療センター

東北大学病院		東北大学病院外科専門医研修プログラム					研修期間 3年		募集人数 44名				
連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科	乳腺外科	その他						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	685	24,406	19,873	1,260	15	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	434	22,554	27,316	1,389	2	○	○
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	346	12,881	14,297	901	3	○	○
県立磐井病院 (P34)	●				●	●	315	12,697	8,913	751	1	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	359	10,532	12,107	422	1	○	○

他連携施設 (県内) 【県内】 奥州市総合水沢病院

東北医科薬科大学病院		東北医科薬科大学外科専門医研修プログラム					研修期間 3年		募集人数 31名				
連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科	乳腺外科	その他						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	685	24,406	19,873	1,260	15	○	○
県立胆沢病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	346	12,881	14,297	901	3	○	○

他連携施設 (県内) 【県内】 盛岡赤十字病院、奥州市総合水沢病院

※他の県立病院との連携に向け調整中

⑥ 整形外科

P32 県立中央病院		岩手県立中央病院整形外科専門医研修プログラム						研修期間 4年		募集人数 3名		
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	リウマチ	スポーツ	脊椎脊髄	脊椎内視鏡	運動器リハ						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●		●	685	9,534	17,868	1,121	3	○	○
連携施設 県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	315	11,357	14,591	907	2	○	○

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年	4年
標準タイプ1	基幹 整形	連携 整形	連携 整形	連携 整形 東北大学病院
標準タイプ2	連携 整形	連携 整形	基幹 整形	連携 整形 東北大学病院
標準タイプ3	連携 整形	基幹 整形	連携 整形	連携 整形 東北大学病院

他連携施設 (県外) 【県外】 東北大学病院、東北医科薬科大学病院、気仙沼市立病院、登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、大崎市民病院、公立黒川病院、石巻赤十字病院、白嶺会仙台整形外科病院、JCHO 仙台病院、東北労災病院、国立病院機構仙台医療センター、東北公済病院、仙台赤十字病院、宮城県立こども病院、仙台市立病院、国立病院機構仙台西多賀病院、松田病院、宮城県立がんセンター、みやぎ県南中核病院、竹田総合病院、いわき市立総合磐城共立病院、公立学校共済東北中央病院、山形市立病院済生館

P39 岩手医科大学附属病院		岩手医科大学整形外科専門医研修プログラム					研修期間 3年9ヶ月		募集人数 8名			
連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	リウマチ	スポーツ	脊椎脊髄	脊椎内視鏡	運動器リハ						保育	宿舎
県立中部病院 (P33)	●	●	●		●	434	4,774	7,316	548	3	○	○
県立胆沢病院 (P33)	▲	●			●	346	10,352	13,624	879	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●		●	359	11,747	10,188	334	2	○	○
県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	180	13,966	14,100	481	1	○	○
県立宮古病院 (P34)					●	238	10,882	8,347	172	2	○	○
県立久慈病院 (P36)					●	246	15,523	13,652	338	1	○	○
県立二戸病院 (P36)					●	230	10,039	8,643	194	1	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院、岩手県立療育センター、盛岡市立病院、柗内病院、総合花巻病院
【県外】 八戸赤十字病院、かづの厚生病院、大町病院

P39 柗内病院		柗内病院専門医研修プログラム					研修期間 3年9ヶ月		募集人数 2名			
連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	リウマチ	スポーツ	脊椎脊髄	脊椎内視鏡	運動器リハ						保育	宿舎
県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	●	180	13,966	14,100	481	1	○	○

他連携施設 (県内) 【県内】 岩手医科大学附属病院、北上済生会病院、総合花巻病院

東北大学病院		東北大学整形外科専門医研修プログラム					研修期間 4年		募集人数 16名			
連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	リウマチ	スポーツ	脊椎脊髄	脊椎内視鏡	運動器リハ						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●		●	685	24,406	19,873	1,260	15	○	○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	315	11,357	14,591	907	2	○	○

内科 小児科 皮膚科 精神科 外科 整形外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 臨床検査 救急科 形成外科 リハビリテーション科 総合診療科

⑦ 産婦人科

P32 県立中央病院	岩手県立中央病院産婦人科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 2名										
基幹病院／連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生		
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎	
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	15,283	10,389	422	309	2	○	○	
連携施設	県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,721	6,343	183	329	1	○	○
	県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	359	11,061	4,802	289	307	1	○	○
	県立宮古病院 (P34)	●	●	●	●	238	8,173	4,632	152	252	1	○	○
	県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	230	6,856	3,587	85	188	1	○	○
【プログラムローテーション例】		1年	2年	3年									
標準タイプ	基幹 産婦		基幹 産婦		連携産婦	連携産婦 岩手医科大学	連携産婦						
他連携施設 (県内)		【県内】 岩手医科大学附属病院											

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学産婦人科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 7名									
連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生	
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	685	15,283	10,389	422	309	2	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	434	6,721	6,343	183	329	1	○	○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	315	9,714	8,845	375	430	3	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	359	11,061	4,802	289	307	1	○	○
県立宮古病院 (P34)	●	●	●	●	238	8,173	4,632	152	252	1	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	230	6,856	3,587	85	188	1	○	○
他連携施設 (県内外)		【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院 【県外】 八戸赤十字病院										

東北大学病院	東北大学産婦人科研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 20名									
連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	分娩数	指導医数	福利厚生	
	生殖・内分泌	腫瘍	周産期	ヘルスケア							保育	宿舎
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	315	9,714	8,845	375	430	3	○	○

東北医科薬科大学	東北医科薬科大学産婦人科研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 6名								
他連携施設 (県内)		【県内】 盛岡赤十字病院									

⑧ 眼科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手眼科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 3名									
連携施設	研修可能な専門領域						病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	角結膜	緑内障	白内障	網膜硝子体 ぶどう膜	屈折矯正 弱視斜視	神経眼科 眼窩付属器					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	685	4,959	1,523	2	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	●	●	●	434	8,488	993	1	○	○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	●	315	3,980	319	1	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	359	13,190	366	1	○	○
県立久慈病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	246	17,446	482	1	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●	230	11,170	647	1	○	○
他連携施設 (県内外)		【県内】 盛岡赤十字病院、北上済生会病院、盛岡市立病院、岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 【県外】 昭和医科大学病院、慶應義塾大学病院、国立成育医療研究センター										

⑨ 耳鼻咽喉科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院 耳鼻咽喉科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 3名							
連携施設	研修可能な専門領域			病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	頭頸部ガン	アレルギー	気管食道						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	685	5,981	2,792	230	1	○	○
県立中部病院 (P33)	●	●	●	434	3,771	884	131	2	○	○
県立胆沢病院 (P33)	▲	▲	▲	346	3,437	251	27	1	○	○
他連携施設 (県内)		【県内】 盛岡赤十字病院								

東北大学病院	東北大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 7名							
連携施設	研修可能な専門領域			病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	頭頸部ガン	アレルギー	気管食道						保育	宿舎
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	315	5,868	2,132	133	1	○	○

⑩ 泌尿器科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学泌尿器科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 7名								
連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)			●	●	685	9,975	6,696	301	2	○	○
県立中部病院 (P33)		●	●	●	434	13,231	4,908	259	1	○	○
県立胆沢病院 (P33)	▲	●	●	●	346	18,923	10,103	500	3	○	○
県立磐井病院 (P34)			▲	●	315	6,672	2,651	130	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)		●	●	●	359	21,602	6,582	109	1	○	○
県立釜石病院 (P36)	●	●	●	●	180	13,133	3,556	108	1	○	○
県立宮古病院 (P34)		●	●	●	238	16,761	7,685	101	1	○	○
県立久慈病院 (P36)		●	●	●	246	19,826	3,271	43	1	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	230	7,645	3,740	42	1	○	○
他連携施設 (県内外)		【県内】 盛岡赤十字病院、奥州市総合水沢病院、三愛病院、後藤泌尿器科皮膚科医院 【県外】 福島県立医科大学附属病院、八戸赤十字病院、竹田総合病院、能代厚生医療センター、公立相馬総合病院、昭和医科大学病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学江東豊洲病院									

秋田大学医学部附属病院	秋田大学医学部附属病院泌尿器科専門医プログラム	研修期間 4年	募集人数 7名								
連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立胆沢病院 (P33)	▲	●	●	●	346	18,923	10,103	500	3	○	○

東北医科薬科大学病院	東北医科薬科大学泌尿器科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 4名								
連携施設	研修可能な専門領域				病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	生殖	透析	腎臓	感染症						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)			●	●	685	9,975	6,696	301	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)		●	●	●	359	21,602	6,582	109	1	○	○

11 脳神経外科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学脳神経外科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 5名											
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	脳腫瘍	脳血管障害	頭部外傷	脊椎脊髄	小児	機能	地域医療						保育	宿舎
県立中部病院 (P33)	●	●	●				●	434	3,554	8,852	63	2	○	○
県立大船渡病院 (P35)	●	●	●	●	●	●	●	359	3,112	8,631	32	2	○	○
県立釜石病院 (P36)								180	1,779	1,347	-	-	○	○
県立宮古病院 (P34)	●	●	●					238	2,871	8,937	10	1	○	○
県立久慈病院 (P36)								246	3,669	-	-	1	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	●	●	●	●		230	2,930	3,460	10	2	○	○
他連携施設 (県内外)													【県内】盛岡赤十字病院 【県外】北里大学、八戸赤十字病院、かつの厚生病院、能代厚生医療センター	

東北大学病院	脳神経外科専門研修 東北大学大学院医学系研究科プログラム	研修期間 4年	募集人数 9名											
連携施設	研修可能な専門領域							病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生	
	脳腫瘍	脳血管障害	頭部外傷	脊椎脊髄	小児	機能	地域医療						保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	●	●	685	3,991	8,980	295	2	○	○
県立胆沢病院(関連施設) (P33)								346	2,994	-	-	-	○	○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●				●	315	2,135	3,844	8	2	○	○

12 放射線科

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学連携病院群 放射線科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 3名					
連携施設	研修可能なサブ領域		病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	診断	治療					保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	●	●	685	35,413	-	6	○	○
県立中部病院 (P33)		●	434	7,031	120	2	○	○
県立二戸病院 (P36)	●	●	230	1,981	-	2	○	○
他連携施設 (県内外)							【県内】盛岡赤十字病院、岩手県対がん協会 【県外】東北大学病院、八戸赤十字病院、那須赤十字病院	

東北大学病院	東北大学病院放射線科専門研修プログラム	研修期間 3年	募集人数 14名					
連携施設	研修可能なサブ領域		病床数	外来数	入院数	指導医数	福利厚生	
	診断	治療					保育	宿舎
県立中部病院 (P33)		●	434	7,031	120	2	○	○
県立胆沢病院(関連施設) (P33)			346	2,828	-	2	○	○
県立磐井病院(関連施設) (P34)			315	3,266	39	3	○	○
他連携施設 (県内)							【県内】岩手医科大学附属病院	

13 麻酔科

P32 県立中央病院	岩手県立中央病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 4名										
基幹病院/連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門領域								麻酔管理 症例数	指導医数	福利厚生	
		集中治療	ペイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急			緩和	保育
県立中央病院 (P32)	※	●	●	●	●	●	●	●	●	3,842	7	○	○
連携施設	県立中部病院 (P33)		●			●	●	●		1,947	3	○	○
	県立胆沢病院 (P33)		●	●		●	●	▲	▲	1,928	5	○	○
	県立磐井病院 (P34)		●			●	●	●	▲	1,544	4	○	○
	県立釜石病院 (P36)			●						110	1	○	○
	県立宮古病院 (P34)			●		●	●			654	1	○	○
	県立二戸病院 (P36)			●		●	●			437	1	○	○

※施設認定未。施設認定後、サブスペ研修可。

【プログラムローテーション例】

	1年	2年	3年	4年
標準タイプ1		基幹 麻酔	連携 麻酔	
標準タイプ2		基幹 麻酔	連携 麻酔	基幹 集中治療
標準タイプ3		連携 麻酔	基幹 麻酔・ペイン	
標準タイプ4		連携 麻酔・ペイン	基幹 麻酔	基幹 麻酔・集中治療

他連携施設 (県内外) 【県内】岩手医科大学附属病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院
【県外】八戸赤十字病院

P39 岩手医科大学附属病院	岩手医科大学附属病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 8名										
連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門領域								麻酔管理 症例数	指導医数	福利厚生	
		集中治療	ペイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急			緩和	保育
県立中央病院 (P32)	※	●	●	●	●	●	●	●	●	3,842	7	○	○
県立中部病院 (P33)			●			●	●			1,947	3	○	○
県立胆沢病院 (P33)		●	●			●	●	▲	▲	1,928	5	○	○
県立磐井病院 (P34)			●			●	●	●	▲	1,544	4	○	○
県立釜石病院 (P36)			●							110	1	○	○
県立宮古病院 (P34)			●		●	●				654	1	○	○
県立二戸病院 (P36)			●		●	●				437	1	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】盛岡赤十字病院
【県外】八戸赤十字病院

※施設認定未。施設認定後、サブスペ研修可。

東北大学病院	東北大学病院 麻酔科専門研修プログラム	研修期間 4年	募集人数 20名										
連携施設	研修可能なサブ領域	研修可能な専門領域								麻酔管理 症例数	指導医数	福利厚生	
		集中治療	ペイン	小児	心外	産婦	脳外	胸部	救急			緩和	保育
県立中部病院 (P33)			●			●	●	●		1,947	3	○	○
県立胆沢病院 (P33)		●	●			●	●	▲	▲	1,928	5	○	○
県立磐井病院 (P34)			●			●	●	●	▲	1,544	4	○	○

14 病理

P39 岩手医科大学附属病院 イーハートヴ病理専門研修プログラム (岩手) **研修期間 3年** **募集人数 2名**

連携施設	組織診	迅速診断	細胞診	病理解剖	専任病理医数	病理専門指導医数	福利厚生	
							保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	6,848	457	7,142	13	4	2	○	○
県立中部病院 (P33)	4,010	35	3,084	4	-	-	○	○
県立胆沢病院 (P33)	3,315	38	1,507	7	-	-	○	○
県立磐井病院 (P34)	3,335	114	4,240	7	2	-	○	○
県立千厩病院 (P37)	566	11	431	-	-	-		○
県立大船渡病院 (P35)	1,758	52	4,420	1	-	-	○	○
県立釜石病院 (P36)	931	18	1,132	-	-	-	○	○
県立宮古病院 (P34)	1,855	14	1,992	2	-	-	○	○
県立久慈病院 (P36)	1,647	1	1,380	1	-	-	○	○
県立二戸病院 (P36)	1,107	33	1,244	2	-	-	○	○

他連携施設 (県内外) 【県内】盛岡赤十字病院、奥州市総合水沢病院 【県外】八戸赤十字病院、がん研究会有明病院

東北大学病院 みやぎ・伊達な病理医育成プログラム **研修期間 3年** **募集人数 6名**

連携施設	組織診	迅速診断	細胞診	病理解剖	専任病理医数	病理専門指導医数	福利厚生	
							保育	宿舎
県立中央病院 (P32)	6,848	457	7,142	13	4	2	○	○
県立磐井病院 (P34)	3,335	114	4,240	7	2	-	○	○
県立大船渡病院 (P35)	1,758	52	4,420	1	-	-	○	○

15 臨床検査

P39 岩手医科大学附属病院 岩手医科大学臨床検査専門研修プログラム **研修期間 3年** **募集人数 1名**

16 救急科

P32 県立中央病院 岩手県立中央病院救急科専門研修プログラム **研修期間 3年** **募集人数 1名**

基幹病院/連携施設	救急受入数 (時間内)			救急受入数 (時間外)			指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	救急車	ドクターヘリ	その他	救急車	ドクターヘリ	その他		
県立中央病院 (P32)	2,260	21	976	5,116	11	8,553	3	○ ○
県立中部病院 (P33)	1,597	16	381	3,114	9	5,433	1	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	1,158	1	468	1,928	-	7,940	2	○ ○
県立宮古病院 (P34)	1,027	3	304	1,883	2	4,618	-	○ ○

【プログラムローテーション例】

標準タイプ	1年		2年		3年	
	基幹 ER ICU 外科系	地域 ER	基幹 ER ICU 小児科救急等	地域 ER	基幹 ER ICU	地域 ER

他連携施設 (県内外) 【県内】岩手医科大学附属病院、西和賀さわうち病院 【県外】青森県立中央病院

P35 県立大船渡病院 新規 岩手県立大船渡病院救急科専門研修プログラム **研修期間 3年** **募集人数 1名**

基幹病院/連携施設	救急受入数 (時間内)			救急受入数 (時間外)			指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	救急車	ドクターヘリ	その他	救急車	ドクターヘリ	その他		
県立大船渡病院 (P35)	1,158	1	468	1,928	-	7,940	2	○ ○
県立中央病院 (P32)	2,260	21	976	5,116	11	8,553	3	○ ○
県立宮古病院 (P34)	1,027	3	304	1,883	2	4,618	-	○ ○
県立久慈病院 (P36)	844	7	391	1,283	6	5,925	1	○ ○

【プログラムローテーション例】

標準タイプ	1年			2年			3年		
	ER ICU 4ヶ月	外科系 5ヶ月	連携 3ヶ月	ER+ICU 6ヶ月	外科系 3ヶ月	小児救急 3ヶ月	ER ICU 4ヶ月	内科系 2ヶ月	連携 3ヶ月

P39 岩手医科大学附属病院 岩手医科大学附属病院救急科専門研修プログラム **研修期間 3年** **募集人数 5名**

連携施設	救急受入数 (時間内)			救急受入数 (時間外)			指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	救急車	ドクターヘリ	その他	救急車	ドクターヘリ	その他		
県立中央病院 (P32)	2,260	21	976	5,116	11	8,553	3	○ ○
県立中部病院 (P33)	1,597	16	381	3,114	9	5,433	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	1,269	8	1,312	2,337	4	5,706	3	○ ○
県立大船渡病院 (P35)	1,158	1	468	1,928	-	7,940	2	○ ○
県立久慈病院 (P36)	844	7	391	1,283	6	5,925	1	○ ○

他連携施設 (県内外) 【県内】盛岡赤十字病院 【県外】八戸赤十字病院

17 形成外科

P39 岩手医科大学附属病院 岩手医科大学形成外科専門研修プログラム **研修期間 4年** **募集人数 4名**

連携施設	研修可能な専門領域					病床数	外来数	入院数	手術数 (全麻)	指導医数	福利厚生 保育 宿舎
	皮膚腫瘍	小児	頭蓋顎顔面	熱傷	手外科						
県立中央病院 (P32)	●	●	●	●	●	685	4,589	1,067	101	1	○ ○
県立中部病院 (P33)	●		▲			434	2,149	1,542	97	1	○ ○
県立磐井病院 (P34)	●	●	●	●	●	315	4,147	838	45	1	○ ○
県立釜石病院 (P36)	●					180	2,596	441	14	1	○ ○
県立宮古病院 (P34)	●		●	●		238	3,465	2,069	52	1	○ ○
県立久慈病院 (P36)	●	▲	●			246	4,609	143	12	1	○ ○

他連携施設 (県外) 【県外】かづの厚生病院、青森県立中央病院、奈良県立医科大学附属病院、岡山大学病院、日本医科大学附属病院、東京科学大学病院

東北大学病院 東北大学形成外科専門研修プログラム **研修期間 4年** **募集人数 5名**

他連携施設 (県内) 【県内】岩手医科大学附属病院

18 リハビリテーション科

P39 岩手医科大学附属病院 岩手県リハビリテーション科専門研修プログラム **研修期間 3年** **募集人数 3名**

他連携施設 (県内) 【県内】岩手県立療育センター、いわてリハビリテーションセンター、南昌病院、栃内第二病院、東八幡平病院

東北大学病院 東北大学リハビリテーション科専門医養成プログラム **研修期間 3年** **募集人数 6名**

他連携施設 (県内) 【県内】東八幡平病院、国立病院機構岩手病院

19 総合診療科

県内統一プログラム

岩手県の総合診療科プログラムは、2022年度から、県立病院、岩手医科大学、その他病院の各プログラムを統合した「県内統一プログラム」となりました。自由度の高いプログラム内容で、各連携施設での研修が可能です（基幹登録施設は岩手医科大学附属内丸メディカルセンター）。

※これまでの各プログラムは、現在研修中の専攻医終了まで暫定的に残ります。

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター イーハートヴ総合診療専門研修プログラム 研修期間 3~4年 募集人数 6名

基幹施設／連携施設	研修可能な領域						病床数	指導医数	福利厚生	
	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	救急	小児	選択			保育	宿舎
県立中央病院 (P32)		●	●	●	●		685	3	○	○
県立中部病院 (P33)		●	●	●	●	●	434	1	○	○
県立遠野病院 (P36)	●						110	-		○
県立東和病院 (P37)	●						68	2		○
県立胆沢病院 (P33)		●	●				346	5	○	○
県立江刺病院 (P37)	●						60	1		○
県立磐井病院 (P34)		●	●	●	●		315	-	○	○
県立千厩病院 (P37)	●						120	-		○
県立大東病院 (P37)	●						40	-		○
県立南光病院 (P35)						●	256	-	○	○
県立大船渡病院 (P35)			●	●	●		359	1	○	○
県立高田病院 (P38)	●						60	-		○
県立釜石病院 (P36)	●						180	-	○	○
県立大槌病院 (P38)	●						50	-		○
県立宮古病院 (P34)			●		●		238	1	○	○
県立山田病院 (P38)	●						50	1		○
県立久慈病院 (P36)			●	●	●		246	2	○	○
県立二戸病院 (P36)			●		●		230	-	○	○
県立一戸病院 (P38)	●					●	198	-		○
県立軽米病院 (P39)	●						98	-		○

他連携施設（県内外）
 【県内】 岩手医科大学附属病院、盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、北上済生会病院、国保藤沢病院、西和賀さわうち病院、国保葛巻病院、国保種市病院、国保まごころ病院、八幡平市立病院、済生会岩泉病院、奥州病院、川久保病院、国保山形診療所、国保浄法寺診療所、エールクリニック八幡平、もりおか往診ホームケアクリニック、盛岡医療生協さわやかクリニック
 【県外】 八戸市立市民病院

プログラムの特徴

岩手では、医療機関の施設母体の垣根を超えて全人的医療を提供し、地域を守るための「良医」を育てるためのネットワークが構築されています。

このネットワークの強みを、総合診療医の育成においても十分に発揮させるべく、総合診療医学分野が教育面やキャリア形成でのサポート・ハブ・調整機能の役割を担い、地域医療・総合診療に関わる岩手の主要な医療機関の総力を結集したプログラムです。

「オール岩手」で専攻医の成長を支えることを目指し、県立病院も連携した県内プログラムです。

★専攻医ファースト

- 働く場所は専攻医の希望が優先。
- いわゆる「入局」ではないシステム。

★確実な専門医取得

- 総合診療専門医の取得に責任を持ちます。
- 新・家庭医専門医、病院総合診療医習得をサポートします。

★オール岩手

- 県内の各施設で研修可能。
- キャリア形成、ワークライフバランスをサポート。
- オンラインで、県内各地の指導医から指導を受けられます。

※内科専門医・救急専門医とのダブルボードが認められています。

研修内容・方法

- 総合診療Ⅰ
診療所・地域病院で外来・在宅医療・地域包括ケア・予防医療を中心に研修します。
- 総合診療Ⅱ
急性期基幹病院の総合診療科に所属して研修します。
- 総合診療Ⅰ、Ⅱそれぞれ6ヵ月以上、合計18ヵ月以上の研修期間が必要です（総合診療Ⅱが内科指導可能なら、内科の研修として扱うことも可能です）。

- 小児科、救急はそれぞれ3ヵ月以上必要です。
- 実践的・主体的に診療を担いながら、月1回の振り返り「レジデントデイ」をWeb Meetingも利用し継続して研修をサポートし、課題抽出・目標設定を繰り返しながら3~4年間の研修を行います。

プログラムローテーション例

4年コース（岩手医大で臨床研修の後に本プログラムで研修する場合）

年目	施設名	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月											
		領域											
1年目	施設名	岩手県立中央病院（or中部病院、胆沢病院、磐井病院）											
	領域	総合診療Ⅱ											
2年目	施設名	岩手県立中央病院（or中部病院、胆沢病院、磐井病院）											
	領域	内科											
3年目	施設名	岩手県立中央病院（or中部病院、胆沢病院、磐井病院）						藤沢病院、さわうち病院、東和病院など					
	領域	小児科			救急科			総合診療Ⅰ					
4年目	施設名	藤沢病院、さわうち病院、まごころ病院など						中部病院:緩和ケア科			県外施設研修		
	領域	総合診療Ⅰ						選択研修			選択研修		

※1~2日/月 内丸メディカルセンターでの外来研修+レジデントデイ=振り返り・課題抽出を通年で継続します。

※上記はあくまで一例であり、プログラムの修了要件を満たすことを前提に、専攻医のニーズに合わせて個々に対応します。3年で修了することも可能です。

自治医科大学附属病院 自治医科大学地域医療人材育成部門 地域医療後期研修プログラム 研修期間 3年 募集人数 2名

連携施設	研修可能な領域						病床数	指導医数	福利厚生	
	総診Ⅰ	総診Ⅱ	内科	救急	小児	選択			保育	宿舎
県立釜石病院 (P36)					●		180	-	○	○

他連携施設（県内） 【県内】 国保藤沢病院

県立中央病院

01 盛岡



専門診療・救急医療・地域医療を支えるプロフェッショナルの育成をします

当院は、多彩な専門診療科（30診療科）、170名を超える医師（臨床研修医除く）により高度急性期医療を推進しています。岩手県全域を対象に先進・高度・特殊医療を提供しながら「救急車を断らない」を掲げ年間7,400台を超える救急車の受け入れを行っており、毎晩7人～9人と多くの医師の救急当直体制、全科オンコール体制をとり、岩手県の救急医療を支えています。また、岩手県内に20ある県立病院のセンター病院として、医師不足の公的病院への診療応援は大きな役割のひとつとなっています。このように、高度医療・救急医療・地域医療を支え、岩手県民にとってなくてはならない病院であり続けることを目指しています。

その中で、専攻医は大きな役割を果たします。自らのサブスペシャリティを目指すに申し分ない症例数のもと研鑽を積み、救急で初療を行う臨床研修医の司令塔として活躍しながら、臨床研修で培ったプラ

イマリ・ケア能力を活かして地域の応援診療を行い、プロフェッショナルな医師を目指すことができます。

当院では、内科・外科・産婦人科・整形外科・救急科・麻酔科の6つが基幹研修プログラムを有しており、令和7年度に専門研修を開始した専攻医は12名となっています。

また、当院が基幹施設ではない領域については、ほかの基幹施設の連携施設となっており、当院での専門研修が可能です。令和7年度は、形成外科や泌尿器科といった他の基幹施設プログラムに属する専攻医が当院で研修を行っています。このように、基幹プログラムを持つ施設にこだわらない専門研修、また、連携施設をメインとした専門研修も可能であり、専攻医の希望に合わせ多彩な研修方法を提案いたします。

ぜひ、当院での専門研修に励む専攻医たちの姿を一度見にいらしてください。

基幹施設 内科 (P17) 産婦人科 (P24) 外科 (P22) 麻酔科 (P27) 整形外科 (P23) 救急科 (P28)

臨床研修病院

専門研修プログラム連携施設

■ 病床数 / 685 床
 ■ 電子カルテ導入 / 有 ■ 保育施設 / 有 ■ 宿舎 / 有
 ■ 診療科目
 総合診療、血液内、腎臓リウマチ、呼吸器内、消化器内、循環器内、神経内、腫瘍内、消化器外、乳腺内分泌外、心血管外、整形外科、脳神経外、皮膚、泌尿器、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉、呼吸器外、小児外、形成外、小児、精神、放射線診断 / 治療、ペイン、麻酔、ICU、病理診断、歯科口腔外

基本領域 (連携施設)	内科	小児科	皮膚科	精神科
外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理
臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療

県立中部病院

02 中部

多くの臨床経験はもちろん、病院全体で専攻医を育てる環境整備に力をいれています。

当院は岩手県のほぼ中央、中部医療圏の地域中核病院で、県立花巻厚生病院と県立北上病院が合併して2009年4月に開院した病院です。中部圏域の急性期医療を担うほか、周産期からがん治療・緩和まで幅広く専門的な医療を実践しています。

当院では19の基本領域のうち、内科を基幹施設として登録しており、研修期間3年間のうち1年間は連携施設での研修を行います。

また、精神科、リハビリテーション科などを除く15領域は連携施設として登録しており、幅広い基本領域での専門研修が可能です。

PICK UP 内科

内科専門研修では、当院内科系診療科で2年間専門研修を行い、3年目は連携施設・特別連携施設で研修を行います。内科専攻研修一般型とサブスペシャリティ重点型のコースがあります。

県立胆沢病院

05 胆沢

病気を診るのではなく人を診る
 ~愛を持って地域医療に貢献します~

当院では現在の臨床研修制度が始まる以前から3-5年の臨床研修を行ってきました。後期研修医は自らの責任で膨大な数の症例に向かい悩みながらも、先輩に教わり後輩に指導しながら切磋琢磨できる環境です。良き臨床医をたくさん育ててきた屋根瓦式教育システムと、「まずはやらせてみよう」という指導医の心意気を肌で感じてください。

なんでも診てやろうという積極的な姿勢を示せば、多種多様な症例を経験することが必ずできます。やる気のある研修医の先生方、お待ちしております。

PICK UP 内科

当院は、患者さんを病気で選ばないという理念を実践するために、内科各科が緩やかに一体となっている体制をもち、各科が連携して診療にあたる総合診療を行っています。各自が専門性を持ちながら、少なくとも一般内科・救急診療の鑑別診断は最低条件と考えています。従って、自分の専門性を出しながら日常診療を行っていても内科専門医取得に必要な症例は自然と経験することができます。

基幹施設 内科 (P17) 臨床 連携



■ 病床数 / 434 床
 ■ 電子カルテ導入 / 有
 ■ 保育施設 / 有
 ■ 宿舎 / 有
 ■ 診療科目
 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・代謝内科、脳神経内科、心療内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、腎臓内科、頭頸部外科、病理科、児童精神科

基本領域 (連携施設)	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科
リハビリ	総合診療				

【お問い合わせ】
 担当：事務局総務課 臨床研修担当
 〒024-8507 北上市村崎野 17 地割 10 番地
 TEL: 0197-71-1511 代 E-mail: EA1013@pref.iwate.jp
<https://chubu-hp.com/>



基幹施設 内科 (P18) 臨床 連携



■ 病床数 / 346 床
 ■ 電子カルテ導入 / 有
 ■ 保育施設 / 有
 ■ 宿舎 / 有
 ■ 診療科目
 内科、血液内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、消化器外科、腎臓内科、病理診断科

基本領域 (連携施設)	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科
リハビリ	総合診療				

【お問い合わせ】
 担当：事務局総務課 専門研修担当
 〒023-0864 奥州市水沢字龍ヶ馬場 61 番地
 TEL: 0197-24-4121 代 E-mail: isawasenmoni@gmail.com
<https://www.isawa-hp.com/>



病院の特徴

PICK UP 内科系

腎臓・透析・リウマチ専門医がいる腎臓リウマチ科、東北最多の心臓カテーテル治療件数を誇る循環器内科、全国的にも稀な血管内治療専門医がいる脳神経内科、治療施設が少ない血液疾患患者を各地から受け入れる血液内科、最新薬物療法を行うがん化学療法科、総合診療科は臓器別診療で対応できない発熱疾患診療も受け入れし、呼吸器内科は肺がん症例では県内のセンター的役割を果たし、消化器内科では食道～大腸まで幅広く診療しています。

PICK UP 外科系

消化器・呼吸器・小児・心血管・整形・形成・脳神経・乳腺内分泌と専門分野ごとに細分化されており、それぞれ症例数も多く、東北有数の実績を誇ります。カンファレンスも充実しており、内科、麻酔科、放射線、病理といった診療科の垣根を越えたカンファレンスを密に行います。救急車を断らない方針から、24時間365日の手術に対応する手術室は12室、手術件数は年間5,000件を超えます。

PICK UP 中央部を支える医療体制

年間5,000件超の手術を支える麻酔科医18名、小児科は総合的な地域小児科診療を重点に高度専門医療まで、産婦人科は正常分娩～ハイリスク分娩、良性・悪性腫瘍まで産婦人科全般診療を行い、救急科は年間7,400台超の救急車（盛岡保健医療圏の約40%）を受け入れ、各診療科専門医と共に救急医療を支えます。放射線診断・治療科では読影の基礎からIVR、また最新のリニアック・IMRTによる治療も行います。

【お問い合わせ】 担当：業務企画室 専門研修担当
 〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号

TEL: 019-653-1151 (代)
 E-mail: gyomu@chuo-hp.jp
<https://chuo-hp.jp>



いわい 県立磐井病院

07
両磐

黄金文化の歴史と風土を舞台に、指導医だけでなく多職種が連携して専攻医を育てます

内科の基幹施設である当院は病床数315床の地域基幹型総合病院です。ER型救急や急性期専門科を有する地域拠点病院の中で、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自己のキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。平泉町や一関市、盛岡市、陸前高田市、そこに居住する地域住民、各種団体、ボランティア、職員などの理解と協力のもとで研修できる環境が整っています。これまで培った後期研修医育成のノウハウと病院総合力を活かし専攻医の多様なニーズに応える研修スケジュールのフレキシビリティが特徴です。

PICK UP 内科

内科専門研修では、超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練します。

基幹施設 内科 (P18) 臨研 連携



- 病床数 / 315 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 保育施設 / 有
- 宿 舎 / 有
- 診療科目
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、心療内科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、病理診断科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	麻酔科	病 理	臨床検査	救 急 科	形成外科
				救急科	リハビリ
					総合診療

【お問い合わせ】
担当：臨床研修センター
〒029-0192 一関市狐禅寺字大平 17 番地
TEL: 0191-23-3452 (代) E-mail: iwaihp@yahoo.co.jp
http://www.iwai-hp.com/



県立南光病院

08
両磐

症例豊富で指定医同時取得も可能
隣接の県立磐井病院との身体合併の連携がスムーズ

児童思春期から老年期まで、精神科救急から超慢性期までと幅広い症例をじっくり経験することができます。岩手県南地区の精神科救急医療を担いスーパー救急病棟を有しています。県立磐井病院が隣接し身体面の管理に恵まれ、リエゾン精神医学や緩和医療の経験も可能です。

PICK UP 精神科

クロザピン療法、m-ECT、LAI (デボ剤) の積極的な使用に力をいれています。児童外来、アルコール専門外来を行っています。コメディカルが主体となって訪問看護、デイケア、リハビリテーションに積極的に取り組んでおり、さまざまな場面で多職種によるチーム医療が力を発揮しています。現場での実践的な臨床能力を身につけるには好適な環境です。

基幹施設 精神 (P21) 連携



- 病床数 / 256 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 保育施設 / 有
- 宿 舎 / 有
- 診療科目
精神科、リハビリテーション科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	麻酔科	病 理	臨床検査	救 急 科	形成外科
				救急科	リハビリ
					総合診療

【お問い合わせ】
担当：事務局長
〒029-0131 一関市狐禅寺字大平 17 番地
TEL: 0191-23-3655 (代) E-mail: EA1028@pref.iwate.jp
https://www.nanko-hp.net/



県立宮古病院

15
宮古

専門医研修は、風光明媚、気候穏やかな宮古で三陸の海の幸を味わってみませんか。

研修期間中は、県立病院の常勤医師としての身分を保証します。女性専攻医が安心して勤務できるように、女性専用の休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室を整備しております。また、敷地内に24時間対応の院内保育所がありますので、子育てをしながらの研修も可能です。地域の急性期を担う基幹病院として、年間約3000台の救急車を受け入れていることもあり、各診療科との協力体制が出来ています。そのため、多数の通院・入院患者の疾患について幅広く経験することが可能であり、高齢化社会に対応した地域に根差した医療、病診、病病連携なども経験できます。

PICK UP いわて三陸海岸連携内科研修プログラム

「いわて三陸海岸連携内科研修プログラム」は当院が基幹施設として実施しているプログラムです。連携施設は、岩手医科大学附属病院、臨床研修病院である県立中央病院のほか6つの県立病院と県立釜石病院、県立山田病院、県立大槌病院、県立軽米病院、県立遠野病院、県立病院以外では済生会岩泉病院、国保種市病院で、規模の異なる病院での連携なども経験することができます。

基幹施設 内科 (P18) 臨研 連携



- 病床数 / 238 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 保育施設 / 有
- 宿 舎 / 有
- 診療科目
内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	麻酔科	病 理	臨床検査	救 急 科	形成外科
				救急科	リハビリ
					総合診療

【お問い合わせ】
担当：事務局長
〒027-0096 宮古市崎嶽ヶ崎第1地割 11 番地 26
TEL: 0193-62-4011 (代) E-mail: EA1005@pref.iwate.jp
https://www.miyako-hp.jp/



県立大船渡病院

11
気仙

24時間救急医療の灯を絶やすことなく、安心・信頼される最善の救急医療を目指します

本救急科研修プログラムの目的は、将来岩手県立病院など地域で働く救急医療の専門医を育成することを目的としています。地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる救急科専門医を育成することを目指しますが、将来地域で働くことを考慮し総合診療的救急医を育成します。

- 専攻医には、以下の3つの学習方法によって専門研修を行います。
- ① 臨床現場での学習 経験豊富な救急科専門医や各診療科専門医とも協同し診療に当たること、臨床現場での学びとします。
 - ② 臨床現場を離れた学習
 - ③ 自己学習

PICK UP 当院救命救急センターの理念

1. 救急患者・救急車は決して断らない。
2. 一次から三次までの幅広い総合救急の提供。
3. 全科参加型の救急医療体制の確立。
4. 自己研鑽と研修医の育成。
5. 地域医療機関との連携及び知識・情報共有の推進。
6. 災害発生時にも対応できる救急体制の確立。

基幹施設 救急 (P29) 臨研 連携



- 病床数 / 359 床
- 電子カルテ導入 / 有
- 保育施設 / 有
- 宿 舎 / 有
- 診療科目
内科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、児童精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科

基本領域 (連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	麻酔科	病 理	臨床検査	救 急 科	形成外科
				救急科	リハビリ
					総合診療

【お問い合わせ】
担当：事務局
〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越 10 番地 1
TEL: 0192-26-1111 (代) E-mail: ea1002@pref.iwate.jp
http://oofunato-hp.com/



県立釜石病院

13
釜石

連携

院内及び地域内チーム医療により専門的かつ広範な医療技術習得が可能です。



- 病床数 180床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/有
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、児童精神科、外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

基本領域 (連携施設)	
内科	外科
整形外科	泌尿器科
脳神経外科	麻酔科
病理	形成外科
総合診療	

地域内唯一の中核病院として急性期から慢性期の多種多様な症例を経験することで、より広い視野にたった医療の実際を身につけることができます。また、院内の指導のみならず、地域内の釜石医師会の強力なバックアップで、より安心して丁寧な研修環境が構築されています。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒026-8550 釜石市甲子町第10地割483番地6
TEL: 0193-25-2011 代 E-mail: resident@kamaishi-hp.com
http://www.kamaishi-hp.com/



県立久慈病院

17
久慈

臨研
連携

地域住民、各種団体、ボランティアや当院の全職員などの理解と協力のもとで研修できる



- 病床数 246床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/有
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

基本領域 (連携施設)	
内科	小児科
外科	整形外科
眼科	泌尿器科
脳神経外科	病理
救急科	形成外科
総合診療	

当院は三陸復興国立公園の北部、久慈市に位置し、人口約5万3千人の久慈医療圏の基幹病院及び救命救急センターとしての機能を担っています。高度急性期から回復期までの病床を有しており、幅広い症例が経験できます。各診療科の垣根も低く、相談しやすい体制になっています。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-0014 久慈市旭町第10地割1番
TEL: 0194-53-6131 代 E-mail: ea1010@pref.iwate.jp
http://www.kuji-hp.com/



県立東和病院

04
中部

連携

地域の皆さんの立場に立ち、より頼りにされる病院づくりを進めます



- 病床数 68床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、消化器内科、外科、リハビリテーション科

基本領域 (連携施設)	
内科	総合診療

花巻市東和町にある当院は、東和町唯一の病院として一般診療、救急、訪問診療を実施し、症例数も豊富です。院長をはじめ経験豊かな医師達が総合診療研修を実施しています。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-0115 花巻市東和町安俵6区75番地1
TEL: 0198-42-2211 代 E-mail: EA1022@pref.iwate.jp
http://www.towa-hp.com/



県立江刺病院

06
胆江

連携

地域の人々に愛され、地域に根ざした病院づくりを進めています。



- 病床数 60床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科

基本領域 (連携施設)	
内科	外科
総合診療	

岩手県奥州市江刺地域唯一の病院として、地域医療の中心的な役割を担っており、当地域における急性期、回復期、慢性期、更には終末期医療という全ての役割を担っています。今後高齢者が増える中、患者さんの尊厳を守る終末期医療として訪問診療や在宅での看取りも行っていきます。

【お問い合わせ】 担当：主任主査 千田悟
〒023-1103 奥州市江刺西大通り5番23号
TEL: 0197-35-2181 代 E-mail: EA1011@pref.iwate.jp
http://www.esashi-hp.com/



県立二戸病院

18
二戸

臨研
連携

地域医療に貢献しながら専門医を目指しましょう



- 病床数 230床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/有
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

基本領域 (連携施設)	
内科	小児科
外科	整形外科
産婦人科	眼科
泌尿器科	脳神経外科
放射線科	麻酔科
病理	総合診療

当院は二戸保健医療圏のほか、青森県南部も含めた人口9万人の医療圏をカバーする地域完結型を目指す中核病院で、この地域の救急医療の大半を一手に引き受けています。地域に根ざし、なくてはならない病院で、地域医療に貢献しながら専門医としてキャリアを積むことができます。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-6193 二戸市堀野字大川原毛38番地2
TEL: 0195-23-2191 代 E-mail: ea1014@pref.iwate.jp
http://www.ninohe-hp.net/



県立遠野病院

03
中部

連携

地域唯一の総合的医療機関として、診療に取り組んでいます。



- 病床数 110床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科

基本領域 (連携施設)	
内科	総合診療

当院は、連携施設ではありますが、地域唯一の総合病院として、プライマリ・ケアから二次救急・人工透析まで一手に引き受ける地域基幹病院です。地域医療に必要な幅広いノウハウを研修できる施設ですので、地域医療を志す皆様をお待ちしております。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-0541 遠野市松崎町白岩14地割74番地
TEL: 0198-62-2222 代 E-mail: EA1008@pref.iwate.jp
http://www.tono-hospital.com/



県立千厩病院

09
両磐

連携

千厩病院には大病院では経験できない医療と地域住民とのつながりがあります



- 病床数 120床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科

基本領域 (連携施設)	
内科	外科
病理	総合診療

診療科にかかわらず患者さんのすべてを診るという方針で診療にあたっています。外来及び入院診療のほかに、訪問診療や特別養護老人ホームとの連携会議、地域住民向けの懇談会の実施など、地域・住民に密着した医療を経験できるプログラムです。

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢32番地1
TEL: 0191-53-2101 代 E-mail: EA1012@pref.iwate.jp
http://www.senmaya-hospital.jp



県立大東病院

10
両磐

連携

大病院では経験できない生活感のある医療を経験でき、医療者としての糧が得られます。



- 病床数 40床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿舎/有
- 診療科目
内科、脳神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科

基本領域 (連携施設)	
内科	総合診療

診療科にかかわらず患者さんのすべてを診るという方針で診療にあたっています。外来及び入院診療のほかに、訪問診療や特別養護老人ホームの回診、訪問看護や居宅介護事業所との連携会議、地域住民向けの健康講話の実施など、地域・住民に密着した医療を経験できるプログラムです。

【お問い合わせ】 担当：事務局総務担当
〒029-0711 一関市大東町大原字川内128番地
TEL: 0191-72-2121 代 E-mail: EA1020@pref.iwate.jp
http://www.daitou-hp.com



県立高田病院

12
気仙

連携

地域の医療と健康を守るため、
地域に寄り添い、地域と共に歩みます。



- 病床数 60床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿 舎/有
- 診療科目
内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科

当院は、東日本大震災で全壊被害を受けましたが、仮設診療所を経て平成30年3月に新病院として診療を再開しました。

基幹病院である県立大船渡病院や地域の介護施設等との役割分担・連携をしながら、訪問診療・看護による在宅医療など高齢社会に対応した医療を提供しています。

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局総務担当
〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田 512 番地 2
TEL：0192-54-3221 代 E-mail：ea1009@pref.iwate.jp
http://www.takata-hp.com



県立大槌病院

14
釜石

連携

地域の復興の一翼を担いながら
「真の地域医療・総合診療」を学ぶことができます



- 病床数 50床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿 舎/有
- 診療科目
内科・外科・整形外科・皮膚科・眼科・リハビリテーション科

当院は東日本大震災津波により全壊しましたが、被災から今日まで地域の医療を守り続けてきました。当地区は高齢化の進展が著しく10年後の日本の姿が今、ここにあります。地域の復興の一翼を担いながら、あたたかい職員に囲まれ「真の地域医療・総合診療」を当院で学んでみませんか？

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局長
〒028-1121 上閉伊郡大槌町小槌第 23 地割字寺野 1 番地 1
TEL：0193-42-2121 代 E-mail：EA1016@pref.iwate.jp
https://www.pref.iwate.jp/iryoukyoku/1061534/index.html



県立山田病院

16
宮古

連携

患者さんとの信頼関係をもとに
安心と最善の医療を行います



- 病床数 50床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿 舎/有
- 診療科目
内科、外科、小児科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

当院は東日本大震災津波により被災し、仮設診療所で外来診療を行ってまいりましたが、平成28年9月に新病院として再開しました。

基幹病院である岩手県立宮古病院との役割分担により高齢者を中心とした医療を提供し、訪問診療、訪問看護による在宅医療にも取り組んでいます。

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局総務担当
〒028-1352 下閉伊郡山田町飯岡第 1 地割 21 番地 1
TEL：0193-82-2111 代 E-mail：ea1017@pref.iwate.jp
http://www.pref.iwate.jp/iryoukyoku/yamada/index.html



県立一戸病院

19
二戸

連携

精神科医として精神保健福祉法に基づき、
精神科臨床全般にわたって診療できます。



- 病床数 198床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿 舎/有
- 診療科目
内科・精神科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・歯科

当院は一戸町及び近隣市町村の方々のための地域総合病院となっております。更に、精神科は県北のみならず、青森県の一部をも含めた県北の精神医療のセンター的病院として機能しており、幅広い症例を経験することができます。

基本領域(連携施設)
内 科 精神科
総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局総務課
〒028-5312 二戸郡一戸町一戸字砂森 60 番地 1
TEL：0195-33-3101 代 E-mail：EA1015@pref.iwate.jp
http://www.ichinohe-hp.com/



県立軽米病院

20
二戸

連携

一般診療から在宅医療まで実践できる、「知識・技能・態度」を重視した研修体制



糖尿病、消化器病の学会認定施設として専門医療研修を実施するとともに、急性期医療から慢性期医療、そして在宅医療への展開を特徴とした、真の意味での地域に根差した総合診療研修を実施しています。

- 病床数 98床
- 電子カルテ導入/有
- 保育施設/なし
- 宿 舎/有
- 診療科目 / 内科、精神科、小児科、外科、リハビリテーション科

基本領域(連携施設)
内 科 総合診療

【お問い合わせ】 担当：事務局次長兼総務課長 又は 事務局長
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米第2地割 54 番地5
TEL：0195-46-2411 代 E-mail：EA1019@pref.iwate.jp
http://www.karumi-hospital.net



OTHER HOSPITAL 岩手県内で県立病院以外のプログラムを行う施設情報

A 岩手医科大学附属病院



- 病床数 / 1,000床
- 診療科目
内科、消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、呼吸器内科、心療内科、アレルギー科、血液・腫瘍内科、脳神経内科、老年内科、外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、小児外科、気管食道外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科 ほか

〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通 2丁目 1番 1号
TEL：019-613-7111
https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/yahaba/

基幹 臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科
	整形外科	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
	放射線科	脳神経外科	形成外科	リハビリ	総合診療
	麻酔科	病 理	臨床検査	救急科	

B 盛岡市立病院



- 病床数 / 268床
- 診療科目
内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、神経精神科、歯科

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目 15番 1号
TEL：019-635-0101
https://www.morioka-city-hosp.jp

臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	外 科	整形外科	眼 科	泌尿器科
------------	-----	-----	------	-----	------

C 栃内病院



- 病床数 / 90床
- 診療科目
整形外科、形成外科、脳神経外科、内科、外科、麻酔科、リハビリテーション科

〒020-0864 岩手県盛岡市西仙北一丁目 15-7
TEL：019-681-3575
https://www.tochinai.com

基幹 連携

基本領域(連携施設)	整形外科
------------	------

D 盛岡赤十字病院



- 病床数 / 354床
- 診療科目
総合内科、血液内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、小児外科、緩和ケア科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

〒020-8560 盛岡市三本柳第6地割 1番地 1
TEL：019-637-3111
http://www.morioka.jrc.or.jp

臨研 連携

基本領域(連携施設)	内 科	小 児 科	皮 膚 科	外 科	整形外科
	産婦人科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
	放射線科	麻酔科	病 理	救急科	